



基本理念

この病院で最も大切なのは患者さんです

The Most Important In This Hospital is the Patient.

安心して相談できる心と脳の専門医療を目指します

人権を尊重し、患者さんが安心し、納得する精神医療・ケアを提供する
説得力のある最新の医学的根拠に基づいた治療を目指す
政策医療を中心に高度の医療サービスを提供する
高度・先駆的な精神医療を模索し、研究・教育・研修に力を入れる
自然に囲まれた落ち着いたアメニティーを提供する
地域の医療機関と協力して心の健康作りをめざす

M E N T A L
Mental Care
EBM
National Policy
Teaching
Amenity
Local Network

Contents

新年度のご挨拶	2
転入者・新規採用者あいさつ	3~4
人事異動	5
精神科認定看護師の紹介	5
災害訓練報告	6
第1回 熊本強度行動障害連携会議 (KCBCM)	6
北病棟2階 (重症心身障害者 (児) 者病棟) の紹介	7
薬剤科の紹介	7
外来診療のご案内	8

発行所：〒861-1116 熊本県合志市福原208
独立行政法人国立病院機構 菊池病院
編集発行：広報誌編集委員会



ホームページ
QRコード

新年度のご挨拶

院長 山下 建昭



令和6年の新年度を迎えました。2024年3月末で多くのスタッフが退職や異動で当院を去られましたが、4月に新しい仲間を迎えることができ大変うれしく思います。新しい仲間の皆様には、当院の環境に慣れて頂き、活躍して頂くことを願っております。

今年度は、いよいよ電子カルテの導入が始まりました。すでに各部門でワーキンググループを中心に取り組んでいただいております。仕事の効率化を図り、働き方改革にも役立つことを期待しております。9月に稼働開始予定です。電子カルテに不安を感じている方もいらっしゃると思いますが、少しずつ慣れていけるとおもいます。

本年度は、精神保健福祉法の改正もあり、虐待防止や行動制限最小限化の取り組みをさらに意識しながら、治療・療育を行って参りたいと思います。医療安全も重要な課題であると思います。「何かちがう」という気付きを皆で共有しながら、虐待防止、医療安全につとめて参りたいと思います。

災害拠点精神科病院としての対応に取り組んで参りたいと思います。災害対策委員会でBCP（業務継続計画）作成、災害時対応マニュアルの整備、災害訓練の計画と実施、DPATチームの編成とその支援などを進めております。日本は地震・台風・豪雨など災害大国ですので、急ぎ準備を進めて参りたいと思います。

教育・研究・研修におきましても、伝統的に取り組んで来ました西日本認知症高齢者対策研修とセミナー in きくちを計画しております。昨年度から開催しておりますKCBCM（熊本強度行動障害連携会議）も実施する予定です。地域の要請に応じ、地域から信頼される病院を目指すため、皆様のご協力とご支援をお願い致します。また各分野の学会や研究会でも積極的に参加して頂きたいと思っています。

病院美化へも取り組んで参りたいと思います。新型コロナウイルス感染症も5類となり、感染リスクに注意しながらではありますが、集団活動も実施できる状況となって参りました。みんなでアイデアを出しながら治療・療養の場として、美しく心地よいものにしていきたいものです。半導体メーカーTSMCの工場稼働、第二工場の計画など病院周辺はいよいよにぎやかになり、様変わりしていくものと思います。そのような状況の中、当院が癒しの場にふさわしいものとなるように環境を整えて参りたいと思います。

今、やるべきことに取り組む続けることが、病院経営につながると思います。焦らず、しっかりと歩を進めて参りたいと思います。皆様のご協力とご支援を引き続きお願い申し上げます。

転入者

新規
採用者

あいさつ



精神科医師

坂口 俊史

令和6年4月より菊池病院で勤務することになりました坂口俊史と申します。私事です前年度動脈解離を患いしばらく入院してありました。職場復帰後も神経症ぎみになり前職の県立こころの医療センターにも迷惑をかけ勤務に関しても院長ともいろいろとありました。今まで医師の立場で同じような話を患者様から聞いていましたが、今思うと形だけの傾聴になっていたのだと今では身に染みる思いで診療に当たっています。菊池病院でも体調面で色々とお迷惑をおかけするかもしれませんが、より一層患者様に寄り添った医療を提供していきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。



作業療法士

東嶋 一明

小倉医療センターより異動して参りました作業療法士の東嶋一明と申します。療法士となって10年以上経ちますが今まで身体障害や重症心身障害児(者)病院への勤務であったため、精神科病院での勤務は初めてとなります。

療法にあたっては常に患者様の気持ちを考え患者様に寄り添えるよう心掛けようと思っております。

また初めての分野のため皆様にはご迷惑をお掛けすることが多々あると思いますが、どうぞご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



療育指導室長

守山 公基

令和6年4月1日付で南九州病院より配置換えで参りました、療育指導室長の守山公基と申します。以前、琉球病院で精神科勤務の経験はございますが、今回久しぶりの勤務となりますので職員の皆様にご迷惑をおかけする部分が多々あるかと思えます。趣味は週末ランニング、息子のバスケットボール応援です。少しずつ環境に慣れつつ、患者さんの日常生活がより良い方向へ向かうよう努力したいと思っております。よろしくお願いいたします。



栄養士

黒木 結実

4月より新規採用で菊池病院に配属されました黒木結実と申します。

出身は宮崎県です。趣味は中国茶を飲むことで、様々なお茶を集めています。

熊本県に来るのも初めてで、不安も多いのですが同時に新生活への期待もあります。ご迷惑おかけすることもあるかと思いますが、早く戦力になれるよう努めますのでどうぞよろしくお願いいたします。



精神科医師

瀬田 大輔

初めまして、私は瀬田大輔と申します。熊本市出身で現在は菊池病院に勤めています。また、新しいことを学ぶことに興味があり常に自己成長を意識しています。人とのコミュニケーションを大切に、協力してチームとして目標に向かって進むことが得意です。将来の夢は社会に貢献しながら自己実現を果たすことです。これからも努力を惜しまず成長していきたいと思っています。どうぞよろしくおねがいします。



精神保健福祉士

赤星 昂汰

令和6年4月より新規採用となりました、赤星昂汰と申します。前職は和水町役場で、社会福祉士としての業務や、行政事務にあたりおりました。今後は自分が住む合志市で働くことができるということで、菊池病院への入職をとても楽しみにしておりました。精神科病院での勤務は初めてですので、ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、皆様のお力になれるよう精一杯頑張ります。



児童指導員

安武 春華

4月1日付で入職いたしました安武春華と申します。

大学では社会福祉学を専攻していました。

これから児童指導員として、利用者様の生活の質の向上や安心して療養生活を送れるよう努めていきます。社会人1年目でまだまだ未熟ですが、精一杯頑張りますのでご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



看護部長

山崎 珠美

令和6年4月1日付で東佐賀病院より昇任で参りました山崎珠美と申します。

これまでは福岡県と佐賀県での勤務でしたので、今回、初の熊本です。

精神科の経験は、肥前精神医療センターで7年間在籍しておりましたが、外来と教育のみで病棟の経験はありません。私自身も学びながら、病院や看護部の理念を皆さんと一緒に実践していければと思います。そして、皆さんと話し合いながら働きやすい職場づくりを心掛けていきたいと思っています。出身は八女市黒木町です。趣味はスポーツ観戦です。どうぞよろしくおねがいいたします。



教育担当看護師長

坂本めぐみ

令和6年4月より熊本医療センター附属看護学校から異動で参りました。環境が変わる時には不安と緊張を感じるものですが、着任初日に澄み渡る青空ときれいな桜を見て、心が癒されました。臨床と教育の現場で様々な経験をさせて頂き今日に至りますが、精神科看護については殆ど経験がありませんので、日々学びながら教育担当として自分にできることを精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



看護師

吉本匠汰

4月1日付で南1病棟配属となりました。これまで急性期や回復期の看護を経験してきましたが、精神科施設での勤務は初めてです。

環境の変化に不安もありますが、優しい先輩方のおかげで、学びの多い日々を過ごすことができている。

不慣れな点もあり、ご迷惑をおかけする場面もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



事務部長

鶴見肇之

熊本医療センターから異動で参りました事務部長の鶴見 肇之(つるみ としゆき)と申します。画数も多いですが、読み方も難しいので、電話にて、漢字フルネームを説明することが苦手です。

出身は福岡県の北九州市というところ(成人式が派手なことだけが有名なところ)です。

さて、今年は、アフターコロナ、TSMCの影響、9月の電子カルテ稼働予定など、当院においては、激動の年になるものと思われる。

職員の皆さんと力を合わせて、一つ一つ乗り越えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



契約係長

江藤太一

R6年4月より、福岡東医療センターより異動でまいりました。契約係長の江藤太一と申します。

私自身出身が熊本県西原村ですので、勤務先が地元になくなり大変うれしく思います。昇任してはじめての病院ですので、ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、貢献できるよう精一杯努力してまいります。何卒よろしくお願いいたします。



看護師

松永優太

令和6年4月1日より新規採用、重症心身障害児(者)病棟へ配属になりました、松永優太と申します。これまで精神科での看護師経験が主でしたが、重症心身障害児(者)病棟での看護では日々新しい経験や知識、より個性に特化した取り組みに学べることの多さを実感しています。楽しく看護に取り組んでいきたいと思っています。みなさん、ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。



看護師

山野高志

この度、令和6年4月1日より南1病棟でお世話になる事になりました。これまでの経験と致しまして、民間病院の身体科、精神科で勤務しておりました。私の経験を活かし、当院でも様々な事を学んで行きたいと思えます。宜しくお願い致します。



業務班長

床嶋剛

本年4月より業務班長として赴任して参りました床嶋剛と申します。前勤務施設となる長崎医療センターと比べると、病院の特徴や規模も大きく異なりますが、菊池病院としての使命や病院全体の動きを理解しながら従事していきたいと思えます。自宅は佐賀県嬉野市で、初めての単身赴任・熊本県での生活となります。熊本県の魅力にたくさん出会えることを楽しみにしながら、菊池病院のために精一杯努めさせていただきます。何卒よろしくお願いいたします。



専門職

矢賀正太郎

令和6年4月1日付の人事異動で参りました専門職の矢賀正太郎と申します。採用は久里浜医療センターで、その後、熊本南病院に転勤し、続いて熊本再春医療センターに異動し、この3月まで勤務しておりました。菊池病院の病院運営に貢献できるよう、何事も前向きに捉えて取り組んでいきたいと考えております。よろしくお願いいたします。



医事係

黒木綾乃

4月から新規採用になりました。医事係の黒木綾乃です。出身は宮崎県です。毎日、熊本の渋滞の凄さに驚きながら通勤しています。今現在は、聞き心地のよい熊本弁に囲まれながら日々業務を行っています。不安なことや分からないことが沢山ありますが、周りの方々に教えて頂きながら成長できるようにしたいです。ご迷惑をお掛けすることもあるかとは思いますが、よろしくお願いいたします。

人事異動

PERSONNEL CHANGES

氏名	現職種(名)	→	新配置	新職種(名)
----	--------	---	-----	--------

定年退職者（一部再雇用）

伊藤 淳司	事務部長	→	退職	
野田 一也	放射線技師長	→	退職	(再雇用)
福嶋 康博	看護師	→	退職	(再雇用)
岩本 由美	看護師	→	退職	(再雇用)

退職者

高崎ゆかり	医療安全係長	→	退職	(非常勤採用)
上田 恭平	副看護師長	→	退職	
垣田 綾子	看護師	→	退職	
和田 浩稔	非常勤精神科医師	→	退職	
宮谷龍之介	非常勤精神科医師	→	退職	
岡田 裕美	非常勤作業療法士	→	退職	

転出者

有馬 京子	看護部長	→	大牟田病院	看護部長
大渡 浩之	庶務班長	→	嬉野医療センター	業務班長
山本 悠介	専門職	→	熊本南病院	業務班長
久松 良祐	契約係長	→	熊本医療センター	経営企画係長
倉満 望子	栄養士	→	長崎医療センター	栄養士
梶原 里絵	作業療法士	→	肥前精神医療センター	作業療法士
末永 紀子	主任児童指導員	→	熊本再春医療センター	療育指導室長
石橋みやび	看護師	→	久里浜医療センター	看護師
内藤 友紀	療養介助専門員	→	国立精神・神経医療研究センター	療養介助専門員

(令和6年3月31日、令和6年4月1日)

採用者

田中 恭子	非常勤精神科医師	医局	精神科医師
新井 琴子	非常勤精神科医師	医局	精神科医師
坂口 俊史		医局	非常勤精神科医師
瀬田 大輔		医局	非常勤精神科医師
松永 優太		看護部	看護師
吉本 匠汰		看護部	看護師
山野 高志		看護部	看護師
中野 和彦	非常勤看護師	看護部	看護師
荒木 高浩		看護部	看護師
黒木 綾乃		事務部	一般職員(医事係)
黒木 結実		栄養管理室	栄養士
安武 春華		療育指導室	児童指導員
赤星 昂汰		地域医療連携室	医療社会事業専門員

転入者

鶴見 肇之	熊本医療センター	→	事務部	事務部長
山崎 珠美	東佐賀病院	→	看護部	看護部長
床 嶋 剛	長崎医療センター	→	事務部	業務班長
矢賀正太郎	熊本再春医療センター	→	事務部	専門職
江藤 太一	福岡東医療センター	→	事務部	契約係長
東嶋 一明	小倉医療センター	→	リハビリテーション科	作業療法士
守山 公基	南九州病院	→	療育指導室	療育指導室長
坂本めぐみ	熊本医療センター 附属看護学校	→	看護部	看護師長

精神科認定看護師の紹介



東病棟 副看護師長
楡井 俊史



南2階病棟 看護師
川田 大吾

令和6年4月1日より精神科認定看護師となった楡井です。

精神科認定看護師の役割として精神科看護の実践、相談、指導、知識の発展が求められます。これらの役割を担う中で、病院理念である『この病院で最も大切なのは患者さんです』を患者さんとのかわりや、スタッフへの支援を通して実践していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

南2階病棟看護師川田大吾です。

菊池病院に入職し24年目を迎えました。

今も精神科看護を続けられるのは、これまで出会った皆様のおかげと感じております。

今回精神科認定看護師を取得いたしました。初心に戻り新たな気持ちで精神科看護に貢献したいと考えております。



災害訓練報告

看護師長 大野 智和

令和6年2月27日に災害対策実施訓練を行いました。当院は令和4年に熊本県災害拠点精神科病院に指定されました。その役割の一つに被災地の患者受け入れがあります。今回は、被災した精神科病院の入院患者受け入れを想定しました。災害対策委員会のメンバーでシナリオを考え、搬送DPAT隊員役、患者役、受け入れ担当医師・看護師、事務員などそれぞれに役割を

担って頂きました。今回は被災した3名の患者受け入れを想定しましたが、それでも患者情報が錯綜しました。各部門における情報共有の難しさを再認識しました。災害はいつ発生するかわかりません。当院が災害拠点精神科病院として役割を果たせるように引き続き訓練を行いたいと思います。



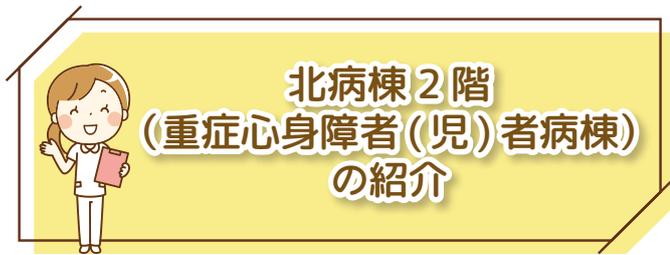
第1回 熊本強度行動障害連携会議 (KCBCM) —強度行動障害があっても地域で暮らしたい—

主任医療社会事業専門員 寺師 絵里香

近年、国立病院機構の重症心身障害児者病棟（以下重症病棟）は、従来のセーフティーネットとしての役割から、地域とのつながりを維持した中間施設・中核医療機関としての役割が期待されています。当院重症病棟において、地域とのつながりは新しい視点であり、職員の意識転換が必要となります。そこで、地域の関係者と合同で「強度行動障害」について学び合う機会として熊本強度行動障害 (KCBCM) が発足しました。令和5年12月8日（金）に第1回目を開催、定員50名を上回る86名の参加希望となりました。医療（当院）と福祉（三気の里）よ

り事例報告、田中 恭子医師よりミニレクチャー、医学的治療や取り組み、強度行動障害へのアプローチ「構造化」を学ぶ場となりました。強度行動障害は特性と環境とのミスマッチから生じる「問題提起行動」であること。事後アンケートでは、諦めずチャレンジし続けることの大切さ、この会が支援者の励みになったとありがたい言葉をいただきました。今後、年2回の開催を計画しています。強度行動障害に特化した勉強会として、双方向に学び支え合う場になるよう立案したいと思います。





北病棟 2階 (重症心身障害者(児)者病棟) の紹介

看護師長 宮崎 里美

当院は、全国に9か所ある強度行動障害治療病棟をもつ病院の一つであり、強度行動障害を伴う患者さんをセーフティーネットとして受け入れて治療してきた長い歴史があります。強度行動障害をもつ方たちの多くは自閉症スペクトラム (ASD) の特性をもち、薬物療法とともに非薬物療法としての専門的支援は欠かせ



北病棟外観

ません。そのため病棟では令和元年から、医師、多職種と共に、自閉症スペクトラム (ASD) の方へエビデンスに基づいた支援法の一つである TEACCH プログラムに取り組んでいます。共通の理解とチームワーク意識をもち、患者さんに笑顔で生活してもらるように、日々取り組んでいます。



薬剤科の紹介 薬剤科長 林 淳一郎

薬剤師3名、薬剤助手1名で業務を行っています。主な業務は調剤と薬剤管理指導で、薬剤管理指導は南2病棟を主に対象として実施しています。

調剤の多くは一包化と散剤で、特に錠剤の粉碎は非常に多くの時間を割かれる業務です。昨年度末、云十年使用してきた散剤分包機が最新型に変わりました。大きさは従来の2/3ながら以前のシステムでは出来なかった事が可能となり、特に分包紙への処方量記載が出来るようになった事は大きく、他施設からの問い合わせ事項の「一包中の実際の用量は？」が解消され、正確な情報伝達が可能となり、医療安全的にも貢献できるようになりました。現在は9月からの電子カルテ運用開始に向けて日々頑張っております。



外来診療のご案内 GUIDANCE OF OUTPATIENT CARE

(令和6年4月1日現在)

項目	月	火	水	木	金
新患	田中亨	新井 (9:15~16:00)	三浦 (午前)	武市	渡邊
	西尾		(西尾)		
	渡邊 (第2・第4)				
もの忘れ 外来新患	(塩沢)	塩沢	塩沢		
子供外来	新井 (再来) (午前)				田中恭 (再来) (午前)
	田中恭 (再来) (午後)		田中恭 (再来・新患) (午後)		新井 (再来・新患) (午後)
再来	塩沢	瀬田	渡邊	坂西	山下 (午前)
	武市	山下	両角	西尾	田中亨
	坂口		三浦 (午後)	瀬戸口	塩沢
	三浦 (午後)		新井 (9:15~16:00)	(武市)	

【専門外来】

- ◆ 老年期・・・担当医：塩沢
- ◆ 物忘れ外来・・・認知症予防と認知症に対する専門外来を行っております。
- ◆ MRI検査・・・当院にてMRI検査を受けることができます。

【診察時間】

受診 8:30~15:00
付 8:30~17:00
療 診
休 土・日曜、祝祭日、振替休日、
年末年始(12月29日~1月3日)

【受診方法】

- ◆ 診察については予約制となっております。
- 初診の方：地域医療連携室で予約を行っております。
電話番号は 096-248-2111
- 再診の方：診察後、次の診察日をご予約下さい。
- 予約の無い方は外来に電話で予約して下さい。



交通機関

- JR豊肥本線三里木駅下車
タクシー10分
- 熊本空港よりタクシー約20分



独立行政法人 国立病院機構 菊池病院

〒861-1116 熊本県合志市福原 208
TEL 096-248-2111 FAX 096-248-4559
<https://kikuchi.hosp.go.jp/>